

日中サービス支援型共同生活援助における 「地域公共団体が設置する協議会等への報告・評価」について

日中サービス支援型共同生活援助における評価根拠

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとする規定されています。

また、知事が必要と認める場合に設置者は新規指定申請時にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとされています。

【日中支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等に関する実施要綱】別添

評価の目的

日中サービス支援型共同生活援助の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図る観点から、実施するものです。

評価の視点

利用者に応じて外部サービスも利用し、日中サービス支援型共同生活援助サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮されているか。

地域住民または地域活動との交流に努めているか。

1. 必要書類の提出

時期:5月

対象:新規指定後は1年以内、以後は1年ごとに提出

内容:報告・評価シートを市へ提出

2. 市町村協議会の評価部会にて評価実施(ヒアリング審査)

時期:6月

内容:事業所同席のもと、「報告・評価シート」に基づき質疑応答等を行う。

評価者:日中サービス支援型共同生活援助評価部会委員5名

3. 市町村協議会にて評価実施(評価の確定)

時期:8月

内容:「報告・評価シート」及び事業所への質疑内容等に基づき評価の確定を行う。

評価者:協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期:9月

内容:市町村協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

5. 市町村協議会から県協議会へ結果の報告

時期:千葉県総合支援協議会が別に定める期日

内容:市町村協議会が県協議会に報告書を提出

6. 県協議会による市町村協議会への助言等

時期:県協議会へ結果の報告後

内容:県協議会は市町村協議会に対し、必要に応じて助言等を行う。

7. 次回以降の指導・評価に向けた改善

時期:県協議会による市町村協議会への助言後

内容:市町村協議会は県協議会の助言等を参考に、次回以降の事業所の評価・助言等における全体的な資質向上に努める。

日中サービス支援型共同生活援助事業所と通所事業所を同一敷地内に設置予定の場合など(知事が必要と認める場合)に、事前評価が必要となります。

1. 必要書類の提出

時期: 8月の市町村協議会で評価を行う場合 → 4月

2月の市町村協議会で評価を行う場合 → 9月

対象: 知事が必要と認める場合のみ事前に提出

内容: 報告・評価シートを協議会へ提出

2. 市町村協議会の評価部会にて評価実施(ヒアリング審査)

時期: 6月と11月に開催 いずれかの評価部会にて評価実施

内容: 事業所同席のもと、「報告・評価シート」に基づき質疑応答等を行う。

評価者: 日中サービス支援型共同生活援助評価部会委員5名

3. 市町村協議会にて評価実施(評価の確定)

時期: 8月と2月に開催 いずれかの協議会にて評価実施

内容: 「報告・評価シート」及び事業所の質疑内容等に基づき評価の確定を行う。

評価者: 協議会委員15名

4. 事業所への結果通知

時期: 市町村協議会での評価実施翌月

内容: 市町村協議会より事業所に助言・要望等の通知を行う。

※市町村協議会から県協議会への結果報告等は、実施の流れ(既に指定を受けている場合)の5~7と同様に行います。

5. 県への結果報告

時期: 事業所への結果通知後

内容: 事業所は市町村協議会での結果通知を添付し、県に報告のうえ新規指定を受ける。

1. 実施の趣旨説明

評価部会の開催意義について(15分程度)

2. プレゼン、質疑応答

事業所による報告・評価シートの内容説明(15～20分程度)

各委員による必要事項の質疑応答(10～15分程度)

3. 評価

各委員による評価シートの記載(10分程度)

※評価部会の1週間後までに評価を提出(当日の提出も可)

令和4年度第2回松戸市地域自立支援協議会において、日中サービス支援型共同生活援助の評価について、評価部会の設置及び付託が決定した。同協議会委員の中から、委員5名を評価部会委員として選出している。

松戸市地域自立支援協議会(委員16名)



部会設置(松戸市地域自立支援協議会
条例第8条)
日中サービス支援型共同生活援助の
評価について付託

松戸市地域自立支援協議会

日中サービス支援型共同生活援助評価部会(委員5名)

1. (部会長)江波戸 達郎 委員【(特非)LIFACT 代表理事】
2. 星野 大和 委員【松戸市医師会 ほしの在宅ケアクリニック 院長】
3. 椎橋 克夫 委員【千葉県立松戸特別支援学校 教頭】
4. 和田 美穂 委員【(社福)松戸市社会福祉協議会】
5. (欠員により現在空席)

日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・
協議会等からの評価等に関する実施要綱

(目的)

第1条 日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」(平成24年12月21日条例第88号)に定めるほか、県内の市町村(政令指定都市及び中核市、我孫子市を除く。以下、この要綱において同じ。)において、日中サービス支援型グループホームの設置者(以下、「設置者」という。)が事業を実施する場合は、この要綱に定めるところにより行うものとする。

(市町村協議会等への定期報告)

第2条 設置者は年に1回以上、当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会等(法第89条の3第1項に規定する協議会又はその他の都道府県知事がこれに準ずるものとして特に認めるもの(以下、「市町村協議会等」という。))に対し、当該事業の実施状況等を報告し、市町村協議会等から評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴かなければならないものとする。

2 設置者は、市町村協議会等が別に定める期日までに、「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告書(事業所用)」(別記第1号様式)及び「評価・報告シート」(別記第2号様式)に必要な事項を記入し、当該市町村協議会等へ提出しなければならない。

なお、新規指定後の提出は1年以内とし、以後の提出は1年毎とする。

3 設置者は、必要に応じて市町村協議会等へ当該事業の実施状況等について説明を行うものとする。

4 設置者は市町村協議会等における評価及び助言、要望等を尊重し、当該事業における質の向上するように努めるものとする。

(市町村協議会等からの評価)

第3条 市町村協議会等は設置者から上記第2条第2項に基づき関係書類が提出された際は、速やかに内容を審査の上、当該設置者の評価を行うものとする。

2 市町村協議会等は、必要に応じて設置者に対し、追加の説明又は報告等を求めることができるものとする。

(県協議会への定期報告)

第4条 市町村協議会等は年に1回以上、千葉県総合支援協議会(以下、県協議会)が別に定める期日までに当該市町村協議会等において実施した評価等の結果を取りまとめの上、「日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告書(市町村用)」(別記第3号様式)を提出するものとする。

2 県協議会は、前項による報告を受け、必要に応じて市町村協議会等に助言等を行うことができるものとする。

3 市町村協議会等は、県協議会における助言等を尊重し、次回以降の設置者に対する助言、評

価等の質が向上するように努めるものとする。

(新規指定申請時の対応)

第5条 知事が必要と認める場合に設置者は事業の新規指定申請にあたり、市町村協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明の上、当該協議会等による評価を受けるものとし、その内容を「市町村協議会等における評価結果等の報告書」(別添第4号様式)及び「市町村協議会等による評価結果報告シート」(別添第5号様式)を用いて知事に報告するものとする。

(記録の保管等)

第6条 上記第2条及び第3条で規定する市町村協議会等における評価を受けた設置者は、その報告内容及びそれに対する評価、助言及び要望等についての記録を整備し、5年間保存しなければならない。

2 設置者は、個人情報の保護に留意しつつ、前項で規定する記録及び事業の運営状況を積極的に公表するものとする。

(その他)

第7条 この要綱に定めるものを除くほか日中サービス支援型共同生活援助における協議会等への報告・協議会等からの評価等の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

報告・評価シート

【報告日 令和6年 5月 10日】
 【評価日 令和6年 6月 4日】

項目	【事業所記入欄】		日中	
	事業者名	あおば	世話人	生活支援員
1 施設概要	指定日	令和2年 4月 1日	34人	15人
	所在地	松戸市金ヶ作422-2	(常勤換算後)	(常勤換算後)
	定員数 (共同生活援助)	39人	12.09人	14.6人
	定員数 (短期入所)	4人	夜間	
	共同生活住居数	4戸	世話人 (夜間)	
			世話人 (夜間)	
			(常勤換算後)	
			(常勤換算後)	
			3.88人	
			人	
2 利用者状況 (令和6年4月30日現在)	【住居の内訳】		【定員数の内訳】	
	障害支援区分	人数	主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	非該当	人	身体	総数： 5人
	区分1	人	主に日中GHで過ごす人数：	人
	区分2	人	知的	総数： 37人
	区分3	2人	主に日中GHで過ごす人数：	人
	区分4	3人	精神	総数： 人
	区分5	9人	主に日中GHで過ごす人数：	人
	区分6	23人	知的	総数： 人
	合計	37人	主に日中GHで過ごす人数：	人
		年齢	障害特性	人数
		~20代	医療的ケアが必要な者	人
		30代	強度行動障害がある者	2人
		40代		
		50代		
		60代~		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 利用者が地域において共同して自立した生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状態並びにその置かれている環境に応じて、適正かつ効果的に支援することを目的とする。</p> <p>【運営方針】 関係法令を遵守し、他の社会資源との連携を図り、適正かつきめの細かい共同生活援助サービスの提供を行う。</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われれます。特に、強度行動障害や身体障害の方を線的なスキルを持つ職員を育てた上で受け入れており、障害の多様化に対応できるよう努めているところを評価いたします。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にとどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>買い物、ドライブ、ウォーキング等</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 37人 (主な外部の日中活動サービスの種類を記入) ・生活介護事業 ・就労継続B型事業</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p>	<p>昨年から変わらずに利用者の余暇支援を行っており、評価できます。</p> <p>平日は入居者全員が外部のサービスを利用しており、日中活動の機会が確保されている点を評価いたします。また、説明からグループホーム内だけでなく、積極的に外部の事業所と連携し対応されている様子がうかがえました。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 外出については、移動支援を活用しての外出やGHにおいても可能な範囲で散歩やドライブ等の機会を設けている。 外部サービスとして訪問診療、訪問マッサージ、訪問理容等も活用している。</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。 体験利用者数：2名</p> <p>単身、居宅サービスを利用しながら生活を送っていたが、生活の維持が難しくなり相談支援事業所並びに成年後見人より相談を受け体験利用を実施した。</p> <p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1" data-bbox="734 703 831 1219"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> <p>・通所事業所での日中活動の具体的内容</p> <p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用入人数】 人</p> <p>【通所の頻度】 1週間に 日程度</p> <p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できよう実践している工夫・取り組み</p>	事業所名		サービス種別		利用定員		<p>外出の機会確保に努められているほか、外部サービスを利用してグループホーム内での生活の充実を図られており評価できます。15より、移動支援を一人あたり月平均3回利用しており、自由に外出の機会を持つ事ができていると感じました。</p> <p>また、松戸クリニックの閉院に伴い、訪問診療を導入されたことをご説明いただきました。利用者のADLや特性に配慮し、通院時の負担軽減となることを判断のうえ導入しており、日々のアセスメントがなされている結果であることを評価いたします。今後、利用者の高齢化がより進むと思われまますので、訪問診療のさらなる活用等、利用者の病態やADLに即した医療サービスを常にご検討ください。</p> <p>地域の利用者需要に添えていいる事業所であることを把握いたしました。</p>
事業所名								
サービス種別								
利用定員								
6 同一敷地内に設置した通所事業所について <small>※該当する場合はのみ回答</small>								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
7 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 定期的に家族会を各住居ごとに開催し、運営状況の説明や要望等、意見交換の場を設けている。 各住居において町内会に入会し、ゴミ当番を輪番でおこなっている。</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1" data-bbox="1843 703 1951 1219"> <tr> <td>実習生</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>人</td> </tr> </table> <p>(受け入れの事例を記入)</p>	実習生	人	受け入れ人数	人	ボランティア	人	<p>家族会を住居ごと開催し、運営説明や意見交換の機会が設けられるなど、企画立案を含め丁寧な姿勢が受け取れました。開かれた運営をされている点を評価いたします。</p> <p>町内会への入会についても評価いたします。継続して地域との交流に努めていただきたいと思います。</p> <p>平日は利用者全員が外部サービスを利用されているため、実習生の受け入れは難しいと思いますが、利用者・家族以外の第三者の視点が入る機会があると好ましいです。</p>
実習生	人							
受け入れ人数	人							
ボランティア	人							
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 62人</p> <p>うち市の事業による受け入れ： 11人</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 17人 休日に母親（介護者）が交通事故にあってしまい、病院に搬送されたことにより、その時点から介護者不在となりすぐに短期入所を利用した。</p>	<p>多数の方を受け入れられており、地域の資源として浸透し、地域のニーズに添えられていると考えられます。特に緊急時に対応されている点を評価いたします。</p> <p>緊急受入事例は好事例であると考えられます。新規の方も含め、今後も積極的な受け入れをお願いたします。また、緊急時対応者で過去に利用歴がある方もおりましたが、そのような方には相談支援専門員と連携し、なるべく緊急の状態にしない対応についてご検討ください。</p>						
9 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 各住居とも利用状況に応じて支援体制を整えている。支援状況によっては夜間支援者を2名体制にしている。</p>	<p>状況に応じて職員の手配体制を整えていることがうかがえました。</p>						
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>入居者並びに家族状況の変化等についても必要に応じて関係各所と情報共有を行いながら、課題の解決や新たなニーズに對しての支援を協力しながら模索している。</p>	<p>入居者やその家族状況等について連携を密にして支援している様子がうかがえました。</p> <p>相談支援事業所と密に連絡が取られていることもわかりました。将来の介護需要の増大を見据え、現在利用されていない方の相談支援の利用もご検討ください。</p> <p>また、相談支援専門員のうち、外部の相談支援専門員の割合について次回の評価部会にてご教示ください。</p>						

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 知的障害者施設にて20年勤務。その間、生活支援員、主任、施設長補佐、サービス管理責任者を経験。4月よりおおば管理責任者。 社会福祉士、サービス管理責任者、強度行動障害支援者実戦研修、認定調査員等。 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 2名配置。共に知的障害者施設(生活介護、共同生活援助)にて生活支援員として10年程勤務。今年度よりおおば主任に昇格。 ①サービス管理責任者、強度行動障害支援者実戦研修、介護初任者研修等。 ②サービス管理責任者、強度行動障害支援者実践研修等。 ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 常勤の生活支援員のうち13名は強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)を受講済みで、そのうち4名は実践研修受講済みである。社会福祉士3名、介護福祉士3名、精神保健福祉士1名の資格者有り。 	<p>今年度より管理者になられたとうかがいましたが、昨年度まで補佐の立場で在籍していたため事業所の様子についてよく把握されており、質問にも適宜回答いただきました。</p> <p>経験豊富で支援スキルの高い職員が配置されていると思われまます。</p> <p>強度行動障害の方への対応について、必要な専門職が配置されていると思われまます。研修の機会についても確保されている様子がうかがえ、定期的な職員会議により、適切な情報共有がされていると感じました。</p>
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 法人内で年間研修計画を立て、それに基づいて研修を実施している。(別紙職員研修計画参照) 外部研修については、その都度案内に従い、該当する者に受講を促している。 ・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。 	<p>法人全体で研修が計画され、受講機会が確保されており、事業所だけでなく法人全体で研修体制が整備されていると感じました。</p> <p>資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれており、質の高い研修や国家資格の取得により、レベルの高い職員を育てようとする姿勢を評価いたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものではなく、体験利用でGHの暮らしを体験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者やご家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断している。 ・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 	<p>入居前に必ず体験のうえ、本人がグループホームでの生活に納得し、希望した場合に受け入れており、本人の意思を尊重されている点を評価いたします。</p> <p>ホームによりバリエーションへの対応状況が異なることから、希望者の特性によっては受け入れの可否について判断せざるを得ない場面があるのではないかと感じました。</p>
14 災害等における体制整備及び防災への備えについて	<ul style="list-style-type: none"> 業務継続計画を整備し、今年度より運用している。 食料品の備蓄は各住居ごとに概ね1週間分は備蓄している。その他不足が生じた際は法人内の通所事業所より物品や人員の協力が得られるよう備えている。 	<p>災害時に備えた食料品や人的支援が明確に計画されている点を評価いたします。</p> <p>防災に対する取り組みの事例について次回の評価部会にてお示しください。</p>
15 協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)	<p>現在グループホーム利用中の移動支援利用者は7名。一人あたり月平均3回利用。</p> <p>適時の報告やサービス提供記録、引継ぎノート等での各住居、各利用者状況の把握。定例の職員会議(ケース会議を含む)での検討や情報共有を行い、会議録を回覧し全職員に周知を図っている。</p>	<p>移動支援など外部のサービスを利用できることは利用者にとって有益であるため、継続をお願いたします。</p> <p>利用に関する情報伝達も適切に行われているように見受けられました。</p>
16 その他		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和6年 5月 13日】
 【評価日 令和6年 6月 4日】

項目		【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業者名	ソーンシャルインクルーホーム松戸東平賀			
	指定日	令和2年 9月 1日	日中		
	所在地	千葉県松戸市東平賀275-1			
	定員数 (共同生活援助)	10人			
	定員数 (短期入所)	1人			
	共同生活住居数	1戸			
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			
	【ソーンシャルインクルーホーム松戸東平賀】	10名			
	【短期入所松戸東平賀】	1名			
	【住居名を記載】	名			
2 利用者状況 (令和6年5月1日 現在)	障害支援区分	人数			
	非該当	人			
	区分1	人			
	区分2	人			
	区分3	1人			
	区分4	3人			
	区分5	4人			
	区分6	人			
	合計	8人			
	年齢	人数			
～20代	1人				
30代	1人				
40代	4人				
50代	1人				
60代～	1人				
3 設立目的・運営方針	【事業所記入欄】	人数			
	非該当	人			
	区分1	人			
	区分2	人			
	区分3	1人			
	区分4	3人			
	区分5	4人			
	区分6	人			
	合計	8人			
	年齢	人数			
～20代	1人				
30代	1人				
40代	4人				
50代	1人				
60代～	1人				

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。</p> <p>運営規定 第1条をご参照ください。</p> <p>【運営方針】 共同生活援助と短期入所の運営規定を添付致します。</p> <p>・GH内で主にもどような日中サービスを提供しているか。 入浴介助・更衣介助・排泄介助・体位交換・居室掃除・洗濯補助・健康管理・服薬管理・金銭管理・受診・外出同行・行政手続きの代行や同行など、ご入居者様が出来ない部分を支援しています。</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 5人 (主な外部の日中活動サービスの種類を記入) 就労移行支援 1名 生活介護 4名</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>1名は4月1日にご入居された方で、生活介護のご見学に行っておりません。受診者証の生活介護認定がまだ下りていませんが、5月中には通所出来る見込みです。他の1名も、相談員様に生活介護事業所の空き状況等を調べていただけたらよいに依頼をしております。</p> <p>もう1名は日中活動に行っていたのですが、今年1月に精神科にご入院され、3月に退院されました。主治医からは「日中活動は様子見」との事でした。3名とも日中活動は行っていないですが、規則正しく生活出来るように声掛けをしたり、定時にトイレの声掛け、一緒に散歩や買い物同行を行っています。職員が入浴介助や見守りを行います。トを使ってゲームをしている方もいます。また、職員とオセロ等の桌上ゲームをしたり、居室の寝具類のシューズを一層に付けたりしています。14時前にリビングに来て、テレビの映画を観賞し15時におやつを召し上げられています。訪問リハビリやマップサービスを利用し、ホーム内で歩行訓練されている方もおります。お話が好きな方は職員と話しをしたり、相談を受けたりしております。居室で音楽を聴いている方や、ゲームをされている方もおります。</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われれます。</p> <p>相談支援専門員と連携し、上手く対応ができていていると思われませんが、直接介助を要する方において、有資格者による対応がなされているか説明に不足がありましたので、次回の評価部会にてお示しください。</p> <p>また、金銭管理や行政手続きについては、必要な支援の程度によって成年後見制度の利用もご検討ください。</p> <p>日中サービス支援型グループホームから就労移行支援を利用する方がおられるのは望ましいです。日中活動が偏ることもなく、本人の希望をくみ取れている様子が見受けられました。</p> <p>利用者支援について日々の様子が伝わってきました。</p> <p>外部の日中活動サービスを利用しない方に対して、職員が個別に対応されたり、必要に応じて訪問サービスを利用されるなど、生活の質が保たれるよう柔軟に対応されている様子がうかがえました。生活の視点としてだけでなく、日中の活動も含めたトータルな支援を評価いたします。</p> <p>様々な障害種別があることから個別のニーズを反映することは難しいとは思いますが、引き続きのご対応をよろしくお願いたします。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>1名は4月1日にご入居された方で、生活介護のご見学に行っておりません。受診者証の生活介護認定がまだ下りていませんが、5月中には通所出来る見込みです。他の1名も、相談員様に生活介護事業所の空き状況等を調べていただけたらよいに依頼をしております。</p> <p>もう1名は日中活動に行っていたのですが、今年1月に精神科にご入院され、3月に退院されました。主治医からは「日中活動は様子見」との事でした。3名とも日中活動は行っていないですが、規則正しく生活出来るように声掛けをしたり、定時にトイレの声掛け、一緒に散歩や買い物同行を行っています。職員が入浴介助や見守りを行います。トを使ってゲームをしている方もいます。また、職員とオセロ等の桌上ゲームをしたり、居室の寝具類のシューズを一層に付けたりしています。14時前にリビングに来て、テレビの映画を観賞し15時におやつを召し上げられています。訪問リハビリやマップサービスを利用し、ホーム内で歩行訓練されている方もおります。お話が好きな方は職員と話しをしたり、相談を受けたりしております。居室で音楽を聴いている方や、ゲームをされている方もおります。</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われれます。</p> <p>相談支援専門員と連携し、上手く対応ができていていると思われませんが、直接介助を要する方において、有資格者による対応がなされているか説明に不足がありましたので、次回の評価部会にてお示しください。</p> <p>また、金銭管理や行政手続きについては、必要な支援の程度によって成年後見制度の利用もご検討ください。</p> <p>日中サービス支援型グループホームから就労移行支援を利用する方がおられるのは望ましいです。日中活動が偏ることもなく、本人の希望をくみ取れている様子が見受けられました。</p> <p>利用者支援について日々の様子が伝わってきました。</p> <p>外部の日中活動サービスを利用しない方に対して、職員が個別に対応されたり、必要に応じて訪問サービスを利用されるなど、生活の質が保たれるよう柔軟に対応されている様子がうかがえました。生活の視点としてだけでなく、日中の活動も含めたトータルな支援を評価いたします。</p> <p>様々な障害種別があることから個別のニーズを反映することは難しいとは思いますが、引き続きのご対応をよろしくお願いたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
5 利用者に対する地域 生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 芸能人のコンサートがあり、新幹線で早朝から名古屋に行かれた方や、映画を観に外出される方がいます。移動支援を利用している方もいます。 ご実家に泊られる方や、ご家族と外出や外食される方もいますので、それぞれのスケジュールに合わせ、入浴時間や食事の発注と提供時間を変えています。外出時の薬の用意や、外出前の身支度、金銭管理などを支援しております。また、ホーム内で卓上ゲームを一緒に行ったり、行政手続きの代行や、同行を行っております。</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。 令和5年6月1日から令和6年5月1日までの間、1名が弊社施設の無料体験入居を1週間利用し、そのままご入居の運びになりました。</p> <p>(事例) ご自宅からのご入居です。ご自宅だと「ご家族の指示に自傷行為をしてしまう」と困り、相談員様から問い合わせがございました。当ホームなら、通所先も変わらず環境の変化も少ないという事で、体験中も不慮になる事なく過ごされたので、そのままご入居になりました。</p>	<p>利用者の趣味や家族との交流などがグループホームに入居されていても制限されておらず、自由な生活を送られている様子がうかがえます。 個々のスケジュールに合わせ、利用者主体の支援が行われている点は評価いたしますが、個別の予定に基づいて支援時点が組み立てられているため、他の利用者と利益が相反する可能性がある点にご留意ください。 早朝からの移動支援について、内部で対応されたのか、外部のヘルパー事業所を活用されたのか次の評価部会にてお示しください。 貴社の無料体験入居は利用者にとって金銭的な負担なく体験ができることで体験入居のハードルが下げられ、入居を検討する後押しになると思われます。大変ありがたい制度ですので、継続して実施をお願いいたします。 ホームが安心・安全な場所であることとフォローができており、心の安定につながっていると感じました。 自傷行為においては医師の見解もふまえながら、必要に応じてクライシスプランを作成するなどの経過観察をお願いいたします。また、自傷行為がされた際の対応について職員間で共有されることが望ましいです。</p>						
6 同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> <p>・通所事業所での日中活動の具体的内容</p> <p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度 ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>	事業所名		サービス種別		利用定員		
事業所名								
サービス種別								
利用定員								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
7 地域に開かれた 運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご実家に泊られる方やご家族と外出される方がおり、制限は無く自由にご家族やご友人とご面会をしていただけるようになっています。1名のご入居者様が誕生日の日に、ご友人からお電話を頂き、話しておられました。散歩や通院等の同行の際には、近隣の方と交流を持つ様に挨拶や会話をしております。 また、ホームで行う避難訓練について、管轄されている消防署にご参加いただき、ご入居されている方の状況を共有し、避難経路や火災時の対応の仕方などをご指導頂きました。</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1"> <tr> <td>実習生</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>ご入居の際に、弊社職員により引越しの荷物を運び、居室に配置致しました。今後は外部のボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。</p>	実習生	0人	受け入れ人数	0人	ボランティア	0人	<p>家族や友人と自由に面会で、グループホームが開かれた運営をされていると感じました。 避難訓練の実施にあたり消防署の協力を得ることは、利用者・職員共に参考となる点が多く、地域との交流のみならず防災の取り組みとしても評価できます。 また、松戸市避難行動要支援者名簿への登録については利用者個人で登録されているのかお示しください。 他の日中サービス支援型グループホームにて、松戸市社会福祉協議会からボランティアの派遣を受けたとの報告がありました。他のグループホームと情報交換の機会を持ち、横の繋がりの構築についてご検討ください。</p>
実習生	0人							
受け入れ人数	0人							
ボランティア	0人							
8 短期入所の併設について	<p>・前年度の受け入れ人数</p> <table border="1"> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>うち市の事業による受け入れ： 0人</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 1名はご家族との関係性に悩んでおられ、一時的に距離を置きたいという事で、短期入所をされました。もう1名は、シェアハウスに住んでいるが、住民と上手くいかずに不慮になってしまった方で、ご本人の訴えで緊急に利用したいとの事で短期入所されました。 令和6年1月より松戸市地域生活支援拠点の登録をされましたので、積極的に受け入れをしたいと思えます。</p>	受け入れ人数	2人	<p>受入件数が少ないながら、緊急時に対応されている点は評価できます。 また、松戸市地域生活支援拠点に登録いただきましてありがとうございます。今後の利用者の受け入れにつきまして、積極的に対応いただけますとあります。</p>				
受け入れ人数	2人							

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
9 支援体制の確保について	<p>・日・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>日勤2名・夜勤2名での支援体制です。日勤は共有部や居室の掃除、入浴介助や散歩、買物同行・受診同行等を行っており、ご入居者様は清潔に入浴出来ております。夜勤は夜間の2～3時間置きの巡視や、朝は全入居者様の血圧・体温・血中酸素濃度を測定しております。日勤、夜勤は食事の時間までに調理し、提供。服薬介助も行います。また、トイレの声掛けや排せつ介助も行います。</p>	<p>日中・夜間とも2名体制で対応し、特に夜間は巡視を行うなど、適切に対応ができていていると思います。朝の健康チェックなどのバイタルチェックを適宜行い、利用者の状態について密に把握している点を評価いたします。</p>
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>ご入居者様のご希望や体調の変化、お登院や入院等があった際は必ず関係する事業所へご連絡し、必要に応じて担当者会議を開き情報共有と安全な支援方法について一緒に考えます。</p> <p>事例①①としては、ご入居当初から「1人暮らしがしたい」と希望されていて、麻痺がある方なので、ご家族は不安に思っており、実行していませんでした。GHとしては日常動作等を見ていて、独立できると思い通所先の事業所、相談員様やご家族と話し合い、主治医にもご意見を頂きました。担当者会議にGH支援ワーカーの方にもご参加していただき、福祉サービスの提案などご家族の不安を聞いていただき、独居する事が出来ました。</p> <p>事例②②就労b型に通所していましたが、「就職したい」と話されたいたので、相談員様にお伝えし、就労移行支援事業所を探して頂き、現在通所をされています。</p> <p>事例③③精神薬の変更があり、不安定になられた方がおりました。訪問看護・通院先に連携を取り、ご家族と相談員様にご連絡をして、急遽受診同行をしました。ご入院になり、退院の際には相談員様・ご家族様・主治医とカンファレンスを開き、退院後にご家族様・相談員様、訪問看護にも来所していただき、安全な支援をする為にはどうするか話し合いました。</p>	<p>利用者の希望に沿って関係者と連携し、支援をしている点を評価いたします。</p> <p>関係者への情報共有や担当者会議の開催など、グループホーム側から積極的に連携を取っている様子がうかがえ、相談支援専門員のほかグループホーム等支援ワーカーを活用して協議されており、好ましいと思います。</p> <p>事例からも適切に役割分担されたうえで対応されていることがうかがえます。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得状況や実務経験について	<p>・支援スキルの高い管理者を置いているか。</p> <p>令和2年4月 ソーシャルインクルーホーム総合花田 施設長 令和3年2月～ソーションインクルーホーム松戸東平賀 管理者 不安な事・分からない事はエリアマネージャーに相談やフォローをしていただいております。毎月、本社ミーティングと千葉エリアのミーティングがあり、虐待防止など障害福祉について学ぶ事が出来ます。</p> <p>・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。</p> <p>平成25年5月～平成30年12月 訪問介護員 平成30年12月～令和2年12月 介護ステーション訪問介護員 令和2年12月～令和3年12月 就労継続支援A型 職業指導員 資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修・サービス管理責任者実践研修</p>	<p>法人として管理者のフォロー体制ができていていると感じました。</p>
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<p>・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。</p> <p>事業所内研修：会社での年間研修計画あり。（年間研修スケジュールをご参照ください。） 毎月ホーム会議を行っており、入居者様の支援方法や、障害特性について確認しております。</p> <p>事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理して頂きます。今後は管理者や生活支援員などは率先して取得していきたいと考えております。</p> <p>・資格取得への取り組みはあるか。</p> <p>サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については受講費の補助があります。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。</p>	<p>職員研修を計画的に実施されている様子がうかがえます。法人での研修計画の他に、入居者の特性に添って、必要な研修を受講していただければと思います。特に強度行動障害研修や初任者研修については積極的な受講をお願いいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 添付させていただいた運営規定をご参照願います。 共同生活援助：第8条（入居にあたっての留意事項） 短期入所：第9条（サービス利用にあたっての留意事項） 運営規定にある規定を守っていただくとともに、特性に合わせ、支援の検討などをご相談させていただいたうえで、回々に決めてまいります。</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 短期入所の継続利用の希望があったのですが、暴言があり他入居者様が不穏になってしまった、居室でお香を焚いていたなどの行為があった為、お断り致しました。GH支援ワーカーに相談し、その方に合うGHへ入居になりました。</p>	<p>受け入れにあたり最低限の基準を明記してある点は評価できます。</p> <p>重度障害者を対象としていることから、受け入れ可否については慎重な判断をお願いいたします。 グループホーム等支援ワーカーを利用したフォローアップは適切であると思います。</p>
14 災害等における体制整備及び防災への備えについて	<p>消防計画・非常災害対策計画に基づいて、年間ホーム研修で避難訓練を行っており、避難訓練に参加出来なかった職員には、避難訓練時の情報を共有しています。各計画書を提出いたしますので、ご参照ください。</p>	<p>災害時に備えた各種マニュアルが整備され、共有されている点を評価いたします。実務的でしっかりとした防災計画であると感じました。 また、参加できなかった職員にも情報共有がなされている点も評価いたします。 災害種類に応じた対応や夜間に発生した場合などにご留意ください。</p>
15 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）	<p>前回の助言にございました「災害時対策の研修」についてですが、本年度から災害訓練も年間ホーム研修スケジュールになりました。</p>	

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
16 その他	<p>車いすの方でも生活できるように、エレベーターやトイレの設備、リフト浴もあります。洗面台も1階・2階に車いすの方でも使いやすいようになっております。玄関、風呂場に段差はありません。</p> <p>訪問看護と業務委託を結んでおりますので2回の訪問看護があり、個別で訪問看護をご契約していない方でも健康観察をして頂いたり、健康に不安がある時はいつでも相談できます。</p> <p>また、かかりつけ薬局を統一しておりますので、誤薬が起きないように管理していただき、薬について不明点があれば薬剤師に相談出来るように連携しております。</p> <p>食事についてはですが、感染症対策の為、居室配膳で召し上がっていただいております。見守りが必要な方は、リビングにて食事をしておられ、献立は食材発注業者の栄養士に合わせ食材の発注をされており、献立は食材発注業者の栄養士によって栄養価が計算されており、適切な調理方法に基づいてホーム職員にて調理し、出来立てを提供しております。また、職員の都合に合わせて、刻み食やとろみ食も提供しております。</p>	<p>施設のバリアフリー化がなされており、施設整備については充足していると思われれます。 誤薬予防を考えたかかりつけ薬局の統一や、利用者に合った食事の提供など、重度的方や高齢になっても住み続けられる取り組みが日常的にされていると感じました。 また、訪問看護との契約により、24時間対応がされていることは利用者の利益になるほか、職員の安心にも繋がることから、好ましいと考えます。今後、加齢とともに医療ニーズが高まり、看護師による健康観察だけでは心身の安定を保てなくなってきた場合には、主治医の指示に基づいた訪問看護に切り替えていただくことをお勧めいたします。 居室での食事については一定のメニューはありますが、共同生活の観点からすると、長期的に見た場合、望ましくはないため、なるべく共同で食事が取れるよう検討をお願いいたします。 むせが増えるなど嚥下機能の低下に伴い、食形態等、食事に関することで日常的に助言を受けたい場合には訪問歯科を導入することを勧めいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和6年 5月 15日】
 【評価日 令和6年 6月 4日】

項目		【事業所記入欄】			
1 施設概要	事業者名	株式会社恵			
	指定日	令和3年 9月 1日			
	所在地	千葉県松戸市和名ヶ谷102-4			
	定員数 (共同生活援助)	20人			
	定員数 (短期入所)	人			
	共同生活住居数	20人			
		【住居の内訳】	【定員数の内訳】		
		グループホームふわふわ松戸A棟	10名		
		グループホームふわふわ松戸B棟	10名		
		【住居名を記載】	名		
2 利用者状況 (令和年月日現在)	障害支援区分	人数			
	非該当	人			
	区分1	人			
	区分2	人			
	区分3	2人			
	区分4	6人			
	区分5	3人			
	区分6	9人			
	合計	20人			
	年齢	人数			
～20代	3人				
30代	2人				
40代	5人				
50代	7人				
60代～	3人				
		人員配置		主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
		世話人	5	生活支援員	10
		(常勤換算後)		(常勤換算後)	
		4.6人		5.0人	
		夜間			
		世話人 (夜間)	2	世話人 (夜間)	9
		(常勤換算後)		(常勤換算後)	
		0.2人		2.2人	
		総数:	5		
		主に日中GHで過ごす人数:	3		
		総数:	14		
		主に日中GHで過ごす人数:	6		
		総数:	7		
		主に日中GHで過ごす人数:	人		
		総数:	1		
		主に日中GHで過ごす人数:	1		
		障害特性	人数		
		医療的ケアが必要な者	人		
		強度行動障害がある者	6人		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助事業の適正な運営を確保する為に必要な人員及び運営管理を図ると共に利用者の立場に沿った適切な共同生活援助の提供を確保する事とする。</p> <p>【運営方針】 株式会社 恵が設置するグループホームふわふわ松戸において実施する指定障害福祉サービスの共同生活援助の適正な運営を確保する為に必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、共同生活援助の円滑な運営管理を図ると共に、利用者の意思及び人格を尊重し、地域での重要な役割を担う社会資源となるため、利用者の立場に立った適切な共同生活援助の提供を確保する事とする。</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われ。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 利用者それぞれの特性に沿い、日中活動を日々行っています。グループで季節の創作活動を主に行ない、個別に機能訓練、リハビリを定期的に行っております。強度行動障害利用者様には、個別に構造化されたプログラムに沿った活動をマニツマン支援にて実施しています。</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用者数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：15人 (主な外部の日中活動サービスの種類を記入) ・就労B型(5名) ・生活介護(7名) ・移動支援(3名)</p>	<p>日中もグループホームで過ごす利用者が多い中、強度行動障害のある利用者に対し、マンツーマンによる支援ができていくことは評価できます。 また、機能訓練やリハビリについて、医師や理学療法士等専門職からの指示には基づいていないとのことでしたが、利用者のニーズと合致しているか検証が必要と思われる。</p> <p>移動支援の記載がありますが、移動支援事業所において日中活動サービスが提供されるわけではなく、移動支援を利用して日中活動の場（生活介護、就労支援等）に移動するため、移動先のサービス等について記載すべきであり、日中活動サービスの記載内容として適当ではありません。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>外部の日中サービスを利用したいが、受け入れ先がない方、日中もホームで過ごしたいとご希望される方もいます。</p> <p>・事例</p> <p>7：00 起床、整容 7：30 朝食、口腔ケア 9：00 部屋の清掃 10：30 散策時間or散歩 12：00 昼食 13：00 創作活動(ビーズ通しや色分け、塗り絵等) 15：00 おやつ 16：00 入浴→洗濯 17：00 散策時間 18：00 夕食→口腔ケア 19：00 自由時間 22：00 就寝</p>	<p>グループホーム内で1日を過ごす方でも規則正しく、閉じこもりがちにならないよう外出の機会を作られており、工夫がうかがえます。</p> <p>日中もホームで過ごしたいと希望される方につきましては、利用者の不利益にならない範囲で社会参加の機会を積極的に提案をしていただきたいため、ホームでの滞在を希望されている理由や背景について把握されるようお願いいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 職員管理のもと調理実習のようなイベント、レクにて余興活動をしております。外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援に挨拶運動も続けております。</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。 (これまでの体験利用者の人数を記入) 12名</p> <p>グループホームが未経験の利用者様に対してもホームでの暮らしを体験できる様にしており、体験から本入居への移行だけでなく今後入居を検討したいというニーズにも対応し、積極的に体験してもらっております。</p>	<p>グループホーム内でのイベント開催など、生活が単調にならないよう取り組まれていると感じました。</p> <p>強度行動障害者の方の外出は本人の安全確保等、課題が多いと思われませんが、良く対応されていると思います。</p> <p>挨拶運動は地域の方に利用者を知っていただける良い活動と考えられますので、今後も積極的な地域交流の継続をお願いたしました。</p> <p>入居を前提としていない体験についても積極的に受け入れられている点評価いたします。将来的な利用を考え、体験できる場があることは大切であると考えます。</p>						
6 同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合のみ回答	<p>・通所事業所の概要について</p> <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> <p>・通所事業所での日中活動の具体的内容</p> <p>・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況</p> <p>・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるよう実践している工夫・取り組み</p>	事業所名		サービス種別		利用定員		
事業所名								
サービス種別								
利用定員								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
7 地域に開かれた運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ご家族や保護者の皆様方とは現在積極的に連絡を取り合っており、内部の状況なども常々把握して頂ける様に努めています。ボランティアの方々に来て頂き、歌やベリーダンサー等々ご家族様もお呼びして開催しております。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1"> <tr> <td>受け入れ人数</td> <td>実習生： 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボランティア： 15 人</td> </tr> </table> <p>松戸社会福祉協議会様からのご紹介でベリーダンサー、歌等々披露して頂きました</p>	受け入れ人数	実習生： 人		ボランティア： 15 人	<p>ボランティアの継続的な受け入れをしており、利用者の余暇支援としての機会だけでなく、家族との交流の機会にもなされている点を評価いたします。</p> <p>また、継続して受け入れを行うことで、ボランティアと信頼関係が構築でき、ホーム内に第三者が入る機会によって開かれた運営につながることが期待できます。</p>
受け入れ人数	実習生： 人					
	ボランティア： 15 人					
8 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 人 ・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 	<p>評価部会当日の説明により、グループホームの周辺にある短期入所事業所（みんなの家ふわふわ松戸）において月130人程度の受け入れがあることを把握いたしました。</p>				
9 支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日利用者12名、20名に対してユニット2～3名、日中、土日祝 利用者20名に対して1ユニット3～4名夜間支援1階（A棟）ユニット2名2階（B棟）ユニット1名～2名配置にて支援体制を確保 	<p>平日・休日・夜間のいずれも必要な職員数が確保されており、手厚く職員配置がされていることを評価いたします。</p>				
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>地域の相談事業所と、緊急時はもちろん常に施設の状態の連絡を取り合っており、利用相談個別支援状況の共有を行っています。通所先の方々とも日々日数を重ねることに利用者の様子などが詳細に連絡を取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になった点などの相談を行っています。</p>	<p>相談支援事業所や通所先の事業所職員と連携が取れていると感じました。個別支援状況の共有が、双方の事業所でのように活用されているのかを次回の評価部会にてお示しください。</p>				

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 初任者研修修了 強度行動障害研修修了 実務者研修受講中 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 社会福祉士 サービス管理責任者 相談支援従事者 介護支援に関わる実務経験が10年以上有り ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 強度行動障害育成研修修了 3名 介護支援に関わる実務経験が3年以上の職員 9名 介護職員初任者研修修了 6名 	<p>管理者業務として、障害特性などの専門的な知識が必要と思われまますので、より一層の研鑽をお願いいたします。</p> <p>サービス管理責任者の配置状況について次回の評価部会にてお示しください。</p> <p>記載によりますと、昨年度から職員の変更がないように見受けられます。経験が長い職員が中心となり、同じ職員が関わることによって安定した支援が行われていることが期待できます。</p>
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 新人研修マニュアルを社内として取得（入社～6ヶ月間）6か月経過しても各種マニュアルの再研修を実施 外部権利擁護虐待防止研修を2回行う強度行動障害支援者育成及びその他研修を選択して受講する計画となっております。 ・資格取得への取り組みはあるか。 資格手当、給与の等級制度などの金銭面でのサポートや実務経験を積んだ職員へのサービス管理取得など、管理職を目指す様な育成体制を整えている。 	<p>定期的な研修の受講や、一定期間後に再研修を行うなど、法人内の研修が適切に行われていると見受けられました。</p> <p>資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれていると感じました。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<p>・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れを行っている。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなど</p> <p>・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 利用相談にて断った事例はありません。通所先との兼合いにより決まらなかった、家族との利用料の折り合いがつかなかったとの事例はあります。</p>	<p>支援区分の高い重度の方を積極的に受け入れる姿勢は地域の資源として貴重であり、運営方針について評価いたします。医療従事者対応が必要なケースは入院等が見込まれますが、訪問診療や訪問看護を適切に利用しながら、医療的ニーズが高い方も受け入れ、地域で生活できる環境を提供していただくとありがたいです。</p> <p>利用相談を断ったことがなく、利用者主体で検討されていることが伝わりました。通所先との兼ね合いで入居されなかった事例に関しては本人の希望に沿った結果であると思われそうですので、評価いたします。</p> <p>利用料については生活保護の利用等も視野に、基幹相談支援センター等の相談機関も交えて総合的に判断する必要があると思われそうですので、類似事例の際ご留意ください。</p>
14 災害等における体制整備及び防災への備えについて	<p>施設内の業務継続計画を策定し、避難訓練は、年2回実施しております。備蓄に関しては、常時3日分の備蓄を備えております。</p> <p>個々に障害特性を考慮したスケジュールを組み立てました。重度の方、軽度の方が取り組める作業や創作活動を考え、個別支援計画に落とし込みながら段階を踏んで進めています。</p> <p>ケア会議の中で、個々の方針を確認し支援の統一を図っています。</p> <p>災害時の避難訓練等について、ケア会議等で災害時の流れについて職員間で共有、避難訓練を随時行っています。</p>	<p>定期的な避難訓練や災害時向けの備蓄など、基本的な備えはできていくように見受けられます。</p> <p>個々の特性に合わせたスケジュールを組まれていることは評価できます。定期的な見直しを行うなど、今後の対応についても期待しております。</p> <p>避難訓練について、業務継続計画内に記載がありますが、災害の種類に応じた訓練方法を具体的に示していただくようお願いいたします。</p>
15 協議会からの要望、助言への対応（2回以降記入）	<p>松戸社会福祉協議会のボランティア活動団体との交流を行っています。その他、外出支援、お散歩支援の際は地域交流を深めるためにも挨拶運動を積極的に行っております。</p>	<p>看護師は貴社の関連企業が運営する訪問看護事業所より派遣された看護師が日中常駐されているとのことでしたが、説明が足りないように感じましたので、次回の評価部会にてより詳細な状況をお示しください。</p>
16 その他		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和6年 5月 14日】
 【評価日 令和6年 6月 4日】

項目	【事業所記入欄】			
	事業者名	しんわ松戸	日中	生活支援員
1 施設概要	指定日	令和5年 2月 1日	世話人	8人
	所在地	千葉県松戸市中和倉467-1	(常勤換算後)	7人
	定員数 (共同生活援助)	20人	(常勤換算後)	5.65人
	定員数 (短期入所)	1人	夜間	
	共同生活住居数	21戸	世話人 (夜間)	世話人 (夜間)
		【住居の内訳】	8人	(常勤換算後)
		しんわ松戸ユニット1	5.8人	(常勤換算後)
		しんわ松戸ユニット2		
		しんわ松戸ショートステイ		
		人数		
2 利用者状況 (令和6年5月1日現在)	障害支援区分	人数	主な障害種別利用者人数 (重複はそれぞれ記入)	
	非該当	0人	総数:	1人
	区分1	0人	主に日中GHで過ごす人数:	人
	区分2	0人	総数:	15人
	区分3	2人	主に日中GHで過ごす人数:	人
	区分4	3人	総数:	1人
	区分5	6人	主に日中GHで過ごす人数:	人
	区分6	6人	総数:	人
	合計	17人	主に日中GHで過ごす人数:	人
	年齢	人数	障害特性	人数
～20代	4人	医療的ケアが必要な者	0人	
30代	5人	強度行動障害がある者	8人	
40代	6人			
50代	2人			
60代～	人			

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 設立目的・運営方針	<p>【設立目的】 別紙事業計画参照</p> <p>【運営方針】 別紙事業計画参照</p>	<p>日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われまます。</p>
4 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にもどのようなかサービスを提供しているか、日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。</p> <p>・ウォーキングや散歩等の健康面の支援</p> <p>・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援</p> <p>・食事や入浴、排泄等のADL面の支援</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 17人 (主な外部の日中活動サービスの種類を記入) 生活介護、就労継続支援B型</p> <p>・外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。</p> <p>非該当</p>	<p>グループホーム内においても健康に留意した活動や、日常生活に必要なスキルを身に着けられる支援が行われている点を評価いたします。</p> <p>日中活動との差別化を意識し、生活に沿った内容の支援を重視されている点は共同生活援助ならではの視点であり、大変好ましく思います。</p> <p>平日は入居者全員が外部のサービスを利用し、日中活動の機会が確保されておりまます。</p> <p>生活介護の利用は同法人が運営する事業所の利用者が多いように見受けられますが、外部のサービスと適切に検討されていることが望ましいです。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。日中活動がない休日、ご利用者様に対して散歩やドライブ・買い物等を促し、外出や活動の機会を積極的に作っています。 ・体験的利用等のニーズに対応しているか。(これまでの体験利用者の人数を記入) 9名 (体験利用の事例を記入) 体験期間として、2泊3日を基本とし、希望される方には4泊5日の体験を行っています。 	<p>休日も積極的に外出する機会を作られている点を評価いたします。活動の機会が積極的に提供されることは利用者にとって利益となり、好ましいです。</p> <p>体験者を多く受け入れ、実際の入居に繋げていることが見受けられます。昨年度より強度行動障害の方の利用者が増えていることから、強度行動障害の方の相談に対し、積極的に応じられている点を評価いたします。</p> <p>体験利用の期間について、事業所の経営上、基本となる日数の設定は必要であると思いますが、利用者のニーズを尊重し、柔軟な対応をお願いいたします。</p>
6 同一敷地内に設置した通所事業所について <i>※該当する場合のみ回答</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・通所事業所の概要について 事業所名 サービス種別 利用定員 ・通所事業所での日中活動の具体的な内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度 ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるように実践している工夫・取り組み 	

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
7 地域に関わられた運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。ご家族：外泊による帰宅や、通院時にお連れいただいたり、事業所に来られたりしています。 地域住民：町内会への参加により催しにお声掛けいただいたり、事業所周辺の清掃時にご挨拶をさせていただいています。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 実習生： 0人 ボランティア： 0人 <p>(受け入れの事例を記入) 受け入れ実績なし。</p>	<p>家族との交流について受け身的であると感じました。家族や第三者がホーム内に入る機会を設けることは、閉鎖的な場所にならないために必要不可欠であると思われま。意図的に交流の機会を設けるなど、意識的な機会の提供をお願いいたします。</p>
8 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数：11人 うち市の事業による受け入れ： 0人 ・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 非該当 	<p>緊急・一時的な受け入れについてご検討いただき、今後の体制の整備及び受け入れをお願いいたします。</p>
9 支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 人員配置区分 旧I型 (3:1) に準じた配置基準で世話人と生活支援員を配置しています。 おもに平日日中は、常時8名以上を配置しており、土日は6名以上を配置しています。 ・本入居前の担当者会議や入居に際して、常時相談支援員と確認等連携を図っています。 ・利用中の生活介護事業所へ、支援方法の共有等を行っています。 ・「こども発達リハビリクリニックむさしの」と連携し、訪問診療の対応を行っています。 ・「のぞみ薬局」と連携し、訪問薬局の対応を行っています。 	<p>日中・土日とも十分な職員が確保されており、配置基準を越えた職員配置がされていることを評価いたします。</p>
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		<p>相談支援事業所との連携に加え、医療機関との連携により感染症の対応時に協力を得られたなどの好事例もあり、日頃からの取り組みを評価いたします。</p> <p>訪問診療と訪問薬局が一体的に提供されることは、管理が一元化されるため利用者や職員にとっても望ましいですが、反面、通院という社会参加の機会を失うものであることも留意ください。</p> <p>また、元々かかりつけの病院や薬局がある方の場合、継続されることを望ましいと考えますが、利用者やその家族が希望する医療機関や薬局との連携もご検討ください。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 R6.6.1付での変更を予定しています。 ・障害福祉に関わる業務歴14年（日中通所事業所） ・介護福祉資格 ・強度行動障害実践研修修了 <ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・障害福祉に関わる業務歴10年（日中通所事業所、共同生活援助事業所） ・介護福祉士資格 ・強度行動障害実践研修修了 <ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・障害分野の経験は浅いが、高齢者分野での経験が豊富なスタッフを数名配置 ・介護福祉士資格（1名） ・強度行動障害実践研修修了者（2名） ・実務者研修修了者（1名） ・初任者研修修了者（1名） <ul style="list-style-type: none"> ・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ・事業所内での年間研修予定の策定 ・強度行動障害支援者養成研修の受講 ・ほか行政主催の研修等への随時参加 	<p>職員の離職についてうかがいましたが、補充されたことは望ましいです。組織体制の編成についてご尽力をお願いいたします。</p> <p>支援経験が豊富でスキルの高い管理者やサービス管理責任者が配置されているように見受けられます。職員の入れ替わりがありましたが、頻繁に支援者が変わると利用者の生活にも影響が生じるため、職員が定着いただけるよう期待いたします。</p> <p>障害分野の経験が浅いとのことですので、障害特性への理解につきましましては社内研修等により適宜フォローをお願いいたします。</p>
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得への取り組みはあるか。 ・事業所内の資格取得支援制度を活用しています。 <p>※別紙参照</p>	<p>長期的な研修計画を策定、実施いただき、多くの職員が業務に必要な研修を受講できるようお願いいたします。</p> <p>初任者研修の受講や国家資格等の取得について法人の補助を受けられる制度は素晴らしい、資格取得の支援に取り組まれていることを評価いたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 <p>明確な基準は設けていませんが、ご本人やご家族の不安を払拭するために体験を複数回おこなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか <p>支援員のスキル、現在のご利用者様とのバランスを考慮し、可能な限り丁寧なモニタリングを心がけ、その上でお受け入れが困難な時は、事情をしっかりと伝えご理解をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は被害や時間帯を想定した避難訓練の実施を予定 ・ご利用者様、職員数分の水と食糧を3日分備蓄 	<p>複数回の体験を実施され、丁寧な対応がうかがえます。最低限の判断基準を明確にさせていただくことで、受け入れを断る際にも理解がされやすくなると思います。</p> <p>事業所にエレベーターの設置がないため、重度の方や利用者の高齢化にどこまで対応できるか、また、ADLが低下した後の対応について、内部で検討されているか疑問が残りました。</p> <p>日中サービス支援型共同生活援助の性質上、ご本人や家族にとっては事業所が頼みの綱であることが考えられますので、受け入れを断られる際には基幹相談支援センターやグループホーム等支援ワーカー等へ情報提供を行うなど、フォローアップをしていただいただけだとありがたいです。</p> <p>条件によってはさまざまな場面で想定されますので、異なる被害や曜日、時間帯を想定していただくことは大変重要であると思います。ぜひ、避難訓練の取り組みをお願いいたします。また、防災計画等、具体的な防災や危機管理の体制を記した文書の作成をご検討ください。</p>
14 災害等における体制整備及び防災への備えについて	<p>3.ご家族の協力もいただきながら支援をおこない、お一人で就Bに通所されている方もいらっしゃいます。送迎ありきにならないよう自立を促す視点を持って、ニーズの拾い出しや支援への反映を心掛けています。</p> <p>若年層のご利用者様が多い為、ご家族も含め初めての別離の生活に不安があり、外泊が多かったです。1年が経ち日中をホームで過ごされる事も増えてきました。重度の方（強度行動障害を有している方）も多数おり、なかなか通所に通えず多くをホームで過ごす方もいらっしゃる。柔軟な支援がおこなえるよう努めていきます。また高齢のご利用者様にも対応できるように、協力医療機関との連携も図っています。</p>	<p>3.できている部分については自立を促す支援を行われており、評価いたします。日中、外部サービスの利用ができない方について、ホーム内で生活が完結する状態が続かないよう、働きかけを続けていたいただきたいと感じました。</p> <p>利用者の高齢化を想定した場合、現在は家族の協力を得られておりますが、将来的にわたり協力を得ることは困難と思われまますので、徐々に対応を検討していただければと思います。また、高齢化による医療機関との連携については精神科だけでなく内科等の連携も求められるものと考えられます。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
<p>15 協議会からの要望、助言への対応（2回目以降記入）</p>	<p>5.事業所都合ではなく、ご利用者様の希望に沿った支援を提供できるよう留意しています。 満室時の体験利用につきましては、法人内他事業所をご提案し、本入居をご希望いただいた際は空きが出次第のご案内で対応しています。</p> <p>10.精神科医と協力医療機関の協定を結んでおり、連携を取っています。近隣の病院とも連携が取れるように関係性づくりに努めます。</p> <p>11.可能な限り同姓介助がおこなえるよう努めています。 R6.6から資格や実務経験を持った職員を施設長、施設長補佐として配置予定です。</p> <p>12.障害福祉事業所向けのeラーニングを導入し、今年度は研修の機会を拡充していく予定です。また上記のとおり職員を配置し、直接支援に関連した研修や、日々の業務の中での指導をおこなっていきます。</p> <p>13.受け入れの可否については、受け入れに向けた課題の抽出や支援の実効性を事業所内で協議し、判断をおこなっています。</p> <p>16.重度化・高齢化に対応できるよう、前述のとおり、職員配置、研修機会の拡充、医療機関との連携等に注力し運営してまいります。</p>	<p>5.法人内だけで解決するのではなく、本人や家族の希望をうかがった上で、外部の相談支援事業所やグループホーム等支援ワーカーと連携していただくのが望ましいです。</p> <p>11.同姓介助は利用者に対する差恥心や尊厳に対して大きく影響を与える事項であるため、できる限りの対応をお願いいたします。</p> <p>12.人材育成の面で苦心されていることが伝わりました。</p>
<p>16 その他</p>	<p>・近隣に生活介護事業所があり、昼夜を通じた支援体制による情報共有をおこなっている。 ・手作りの食事提供による家庭的で落ち着いた環境。 ・四季折々の時期に合わせた事業所内の装飾。 ・トイレ等はわかりやすくピクトグラムを提示。 ・極力段差を解消しバリアフリー化を図る。（1階ユニット1）</p>	<p>近隣の生活介護事業所と連携して支援体制が取られている点を評価いたします。 令和6年度の報酬改定を受け、生活介護事業所によっては支援体制の再構築が行われておりますが、引き続きグループホームと連携した対応についてご検討をお願いいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

報告・評価シート

【報告日 令和6年 5月 13日】
 【評価日 令和6年 6月 4日】

項目	【事業所記入欄】	
	事業者名	バンビのおうち・いずみ
1 施設概要	指定日	2024年 1月 1日
	所在地	松戸市古ヶ崎160
	定員数 (共同生活援助)	10人
	定員数 (短期入所)	1人
	共同生活住居数	1戸
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】
	バンビのおうち・いずみ	10名
	バンビのおうち・いずみ 短期	1名
	【住居名を記載】	名
	障害支援区分	人数
非該当	人	
区分 1	人	
区分 2	人	
区分 3	人	
区分 4	2人	
区分 5	1人	
区分 6	人	
合計	3人	
2 利用者状況 (令和6年5月1日現在)	年齢	人数
	～20代	人
	30代	人
	40代	2人
	50代	1人
	60代～	人
	障害支援区分	人数
	非該当	人
	区分 1	人
	区分 2	人
区分 3	人	
区分 4	2人	
区分 5	1人	
区分 6	人	
合計	3人	
3 設立的目的・運営方針	【設立的目的】 (別紙でも可)	共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営規定 第1条をご参照ください。
	【運営方針】 (別紙でも可)	共同生活援助と短期入所の運営規定を添付いたします。 運営方針 第2条をご参照ください。
	・GH内で主にとのような日中サービスを提供しているか。	生活に沿った支援を重視しています。
	・掃除や洗濯等の日常生活の支援	・食事や入浴、排泄等のADLの支援
	・健康管理/受診同行等の支援	利用者が出来ない部分を支援しています。余暇活動（散歩や塗り絵等）も利用者に合わせ一緒に行っていきます。
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 1 人
	生活介護 (1名)	
	・外部の日中活動サービス等を利用していない方について	外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。
	・入居したばかりで近隣の就労継続支援B型を相談員と検討中 (1名) 午前 図書館等 外出	午後 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・プラモデル作成
	・外部の日中活動サービスを利用しないと本人の意向があり、今まで昼夜逆転している生活をしてきた様子なので相談事業所・訪問診療医師・訪問看護と相談中 (1名)	・日中は居室で過ごす (TVやタブレット鑑賞)
・訪問看護・リハビリ (週3日)		

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】	【市町村協議会等記入欄】
	具体的な内容	要望・助言・評価
3 設立的目的・運営方針	【設立的目的】 (別紙でも可)	日中サービス支援型の目的を理解して運営されていると思われま。
	【運営方針】 (別紙でも可)	
	・GH内で主にとのような日中サービスを提供しているか。	利用者の健康管理について、具体的にどのような対応をされているか次回の評価部会にてお示しください。
	・掃除や洗濯等の日常生活の支援	
	・食事や入浴、排泄等のADLの支援	
	・健康管理/受診同行等の支援	
	利用者が出来ない部分を支援しています。余暇活動（散歩や塗り絵等）も利用者に合わせ一緒に行っていきます。	
	・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について	
	前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 1 人	
	生活介護 (1名)	
4 利用者の主な日中の活動について	・外部の日中活動サービス等を利用していない方について	グループホーム内で一日を過ごす方でも規則正しく、室内で閉じこもりがちにならないよう外出の機会を設けている様子がうかがえました。
	・入居したばかりで近隣の就労継続支援B型を相談員と検討中 (1名) 午前 図書館等 外出	また、昼夜逆転状態の方に対して外部の事業所と連携して支援が行えており、評価できます。
	午後 居室や居間でネットを使用して調べもの・ノートにまとめる・職員と歓談・散歩・塗り絵・プラモデル作成	
	・外部の日中活動サービスを利用しないと本人の意向があり、今まで昼夜逆転している生活をしてきた様子なので相談事業所・訪問診療医師・訪問看護と相談中 (1名)	
	・日中は居室で過ごす (TVやタブレット鑑賞)	
	・訪問看護・リハビリ (週3日)	

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
5 利用者に対する地域生活の支援状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。外出支援は、近隣の店舗へ買い物支援や地域交流を深めるために散歩支援等には挨拶等も積極的にを行っています。 ・体的利用等のニーズに対応しているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・5名 ・グループホームが初めての利用者様にホームでの暮らしを体験できるようにしています。 ・体験から本入居への移行だけでなく今後の入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用しています。 	<p>グループホーム内だけの生活にならないよう、積極的に外出や余暇活動の支援に努めていただき、外出時の挨拶は継続的な実施をお願いいたします。</p> <p>本入居を前提とした体験だけでなく、グループホームが初めての方に、将来的な利用のための体験を受け入れられている点を評価いたします。</p> <p>親亡き後の生活に不安を抱えている方は地域に一定数おり、特に日中も支援が必要な方にとって、日中サービス支援型グループホームの体験の場は貴重な存在となります。今後も積極的な受け入れをお願いします。</p>						
6 同一敷地内に設置した通所事業所について ※該当する場合はのみ回答	<ul style="list-style-type: none"> ・通所事業所の概要について <table border="1"> <tr> <td>事業所名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービス種別</td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> </tr> </table> ・通所事業所での日中活動の具体的内容 ・日中支援型GH入居者の当該通所事業所の利用状況 【GHからの利用人数】 人 【通所の頻度】 1週間に 日程度 ・当該通所事業所以外にも日中活動の機会を確保できるように実践している工夫・取り組み 	事業所名		サービス種別		利用定員		
事業所名								
サービス種別								
利用定員								

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
7 地域に開かれた運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由にしています。また、散歩や買い物等同行の際に、近隣の方と交流を図れるように挨拶や会話等をしています。 ・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 <table border="1"> <tr> <td>実習生</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>0人</td> </tr> </table> (受け入れの事例を記入) 	実習生	0人	ボランティア	0人	<p>家族や地域の方と交流する機会を持つことは大切ですが、継続して実施していただき、地域に開かれた運営を意識してください。</p>
実習生	0人					
ボランティア	0人					
8 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の受け入れ人数 受け入れ人数： 2人 うち市の事業による受け入れ： 0人 ・緊急・一時的な支援等の受け入れ人数と事例 (夜間)：利用者2名/10名に対して1名 	<p>開所から日が浅いため、今後の受け入れ拡大について期待しております。また、短期入所定員の範囲内で、緊急時の受け入れについて積極的に実施いただけようをお願いいたします。</p> <p>懸念事項として、短期入所が2階にあるため、下肢に障害者の方などは構造上、利用が困難ではないかと感じました。</p>				
9 支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか 平日(日中)：利用者2名/10名に対して2名 (夜間)：利用者3名/10名に対して1名 土日(日中)：利用者2名/10名に対して1～2名 (夜間)：利用者2名/10名に対して1名 	<p>利用者と支援者の人数比から、必要な人員は確保されていると見受けられます。利用者の障害の程度や特性に応じて、柔軟な対応をお願いいたします。</p> <p>特に貴法人の意向により、土日夜間の配置を手厚くされている点を評価いたします。</p>				
10 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題についてのようじしとらより良いか共に模索している。 ・怪我や体調の変化があった際には、必ず関係する事業所等へ情報共有し、どのように支援していくかなど連携している。 	<p>相談支援事業所や関係機関等と適宜情報共有を行っており、よく連携が取られております。</p> <p>日々、利用者の生活を見られているグループホームから、体調の急変時に関係機関と積極的に情報を共有されていることは非常に望ましいです。</p>				

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
11 従業者の資格取得状況や実務経験について	<ul style="list-style-type: none"> ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 就労継続支援A型 生活支援員/職業指導員 7年 サービス管理責任者基礎研修 受講予定 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・小字校教諭2種免許 ・幼稚園教諭2種免許 ・放課後等デイサービス ・児童発達支援管理責任者研修 ・相談支援従事者初任者研修 ・支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・介護職員初任者研修 ・介護職員実務者研修 ・介護福祉士(5名) ・強度行動障害者支援者養成研修(基礎1名) ・強度行動障害者支援者養成研修(実践1名) 	<p>サービス管理責任者について必要な研修を受けられているか、記載から判断できませんでした。基準に沿った資格取得者が配置されているか、今一度ご確認ください。</p> <p>また、法人として初めての共同生活援助事業所であるため、生活の場面を支援した経験のないことが見受けられます。作業や訓練ではなく、生活の場であることを意識した支援をお願いいたします。</p> <p>法人の実績から、児童分野に長けていることが見受けられますので、障害者の支援においても学びの場面が提供されたいと思います。</p> <p>社会福祉士や精神保健福祉士等の有資格者がいると望ましいです。</p>
12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 年間研修計画に沿って実施予定 外部研修については、その都度案内に従い該当する職員に受講を促している。 ・資格取得への取り組みはあるか。 講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。 	<p>業務に必要な外部研修について、該当者に受講を促しており、職員の育成に対する姿勢として評価できます。</p> <p>資格手当を整備し、資格取得の意欲を高められるように取り組まれているのが見受けられます。生活支援員など、直接的な介助を行う方については初任者研修や強度行動障害支援者研修を積極的に受講いただきましたますようお願いいたします。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
13 利用希望者の受け入れ可否の判断基準について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 明確なものではなく、体験利用で経験した上で本人が家庭を離れた生活に順応し入居を希望した場合受け入れ可能としている。相談支援事業所・関係機関等と最終的な調整会議を行い判断している。 ・実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか 情緒不安定となり、施設や職員に対し強い執着がみられた。また、服薬調整中(てんかん)と言うこともあり、相談員・HPワーカーとも相談しご理解頂きました。 	<p>関係機関と調整会議を行っている点は評価できます。</p> <p>法人として初めてのグループホーム運営という点から、ある程度対象となる層を決め、最低限の判断基準について明確にしていただいた方が、その後の支援体制を構築しやすく、受け入れを断る際にも理解されやすいのではないかと思います。</p> <p>症状のモニタリングや内服管理等が必要な、医療的ニーズの高い方を受け止めるための体制について検討のうえ、実施していただくと幸いです。</p>
14 災害等における体制整備及び防災への備えについて	<p>「非常災害対策計画」別紙参照</p>	<p>地震以外の災害においても想定していただき、様々な場面に対応した避難訓練の実施についてご検討ください。</p>
15 協議会からの要望、助言への対応(2回目以降記入)		
16 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ等は分かりやすくピクトグラムを掲示 ・極力段差の解消によるバリアフリー化 1階の洗面台は車椅子の方でも使いやすいとなっている。 ・浴室に転倒防止用に手すりを多く設置している。 	<p>重度・高齢をはじめとした多彩な利用者に対応できるよう、バリアフリー化への取り組みや配慮がされており、評価できます。反面、施設にエレベーターがないことから、施設の1階は身体障害者の方も含め快適な利用が見込まれますが、2階を利用者されている方が将来、高齢になった際に住み続けられる環境であるかは記載から読み取れませんでした。</p>

※指定前の事前評価の場合は、その時点で予定している内容を回答して下さい。